

秋田工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	環境アセスメント
科目基礎情報					
科目番号	0013		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	環境都市工学科		対象学年	5	
開設期	前期		週時間数	1	
教科書/教材	プリント・配布資料を用いる				
担当教員	増田 周平				
到達目標					
<p>1. 環境アセスメントの制度に関して、成立に至る歴史的背景、制度の概要が説明できる。</p> <p>2. 環境アセスメントの調査・予測・評価の手法と、ミチゲーションの概要が説明できる。</p> <p>3. 環境影響評価に関する資料の構成・概要を理解できる。</p>					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	環境アセスメントの制度の概要を、歴史的な背景、主要な手続きを基に、具体的な事例を交えながら説明できる。	環境アセスメントの制度の概要を、主要な手続きを基に説明できる。	環境アセスメントの制度の概要が説明できない。		
評価項目2	環境アセスメントの調査・予測・評価の手法とミチゲーションの概要を、具体的な事例を交えながら説明できる。	環境アセスメントの調査・予測・評価の手法とミチゲーションの概要を説明できる。	環境アセスメントの調査・予測・評価の手法とミチゲーションの概要を説明できない。		
評価項目3	環境影響評価に関する資料の種類と、その構成・概要を理解した上で、自らの見解を述べることができる。	環境影響評価に関する資料の種類と、その構成・概要を理解できる。	環境影響評価に関する資料の種類と、その構成・概要を理解できない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	環境アセスメントの成立に関する歴史的背景、法制度の概要および環境保全手法を、具体的な事例を交えながら理解する。				
授業の進め方・方法	講義形式を中心に、適宜グループワークやディスカッションを交えて行う。課題演習、レポート作成を適宜実施する。授業時間内にグループによるプレゼンテーションを行い、理解度を確認する。試験結果が合格点に達しない場合、再テストを行うことがある。				
注意点	講義資料、レポートなどの配布物が比較的多いため、それらの情報を整理できる環境を事前に整備しておくこと。また、グループディスカッションやプレゼンテーションに積極的に参加すること。講義で学習した内容をふまえ、ニュース・新聞などの環境アセスメントに関する報道を、自身に関する問題として認識し、考える習慣を身につけてほしい。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	授業ガイダンス	授業の進め方と評価の仕方について説明する。	
		2週	環境アセスメントの対象事業	環境アセスメントの対象事業とその決定方法が理解できる。	
		3週	環境アセスメントの手続き	配慮書、スクリーニング、スコーピングに関する手続きが理解できる。	
		4週	環境アセスメントの実施	環境アセスメントの実施、報告書に関する手続きが理解できる。	
		5週	近年の法改正のポイント	2011年の法改正の内容とその背景が理解できる。	
		6週	地方公共団体のアセスメント制度	秋田県のアセスメント制度の概要と特徴を理解できる。	
		7週	プレゼンテーション①	環境アセスメント制度ならびに具体的な環境アセスメントの事例に関する調査を行い、その内容についてプレゼンテーションを行う。	
		8週	プレゼンテーション②	環境アセスメント制度ならびに具体的な環境アセスメントの事例に関する調査を行い、その内容についてプレゼンテーションを行う。	
	2ndQ	9週	調査・予測手法	環境アセスメントの調査・予測手法の概要を理解できる。	
		10週	評価手法	環境アセスメントの評価手法の概要を理解できる。	
		11週	ミチゲーション	ミチゲーション手法の概要を理解できる。	
		12週	生態系への配慮	ミチゲーション実施にあたっての生態系への配慮点を理解できる。	
		13週	環境影響評価書の理解と分析①	実際の環境影響評価に関する資料を用いて、環境影響評価の目標、手法、結果の評価方法について理解する。	
		14週	環境影響評価書の理解と分析②	実際の環境影響評価に関する資料を用いて、環境影響評価の目標、手法、結果の評価方法について理解する。	
		15週	到達度試験（前期末）	上記項目について学習した内容の理解度を授業の中で確認する。	
		16週	試験の解説と解答	到達度試験の解説と解答、および授業アンケート	
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					

	試験	発表	その他	合計
総合評価割合	60	30	10	100
基礎的能力	40	0	10	50
専門的能力	20	20	0	40
分野横断的能力	0	10	0	10